

# 子ども家庭支援センター 運営協議会 ～R6 事業報告～

## 【目次】

- 1 広場事業（東部・西部）・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 2 巡回子育て発達相談事業（東部）・・・・・・・・ P3
- 3 児童発達支援センター事業・・・・・・・・・・・・ P9
- 4 子ども虐待防止ネットワーク事業・・・・・・・・ P15
- 5 ショートステイ事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P22
- 6 バースデーサポート事業・・・・・・・・・・・・ P25

# 1. 広場事業（東部子ども家庭支援センター・西部子ども家庭支援センター）

令和6年12月末現在

東部子ども家庭支援センターの一時保育室に仕切りの棚を設置しました。

食事とあそび、動的なあそびと静的なあそびを分けることでより安心安全な保育を保障できるようになりました。



西部子ども家庭支援センターでは、児童発達支援センターの栄養士による「離乳食講習会」を開催しています。

これから離乳食が始められる方、または始めたばかりの方を対象に、基礎的な離乳食のすすめ方を紹介します。

少人数での開催なので、参加者同士の交流の場にもなっているようです。



東部子ども家庭支援センター



西部子ども家庭支援センター

## （1）妊娠時からの事業展開

### ウェルカム赤ちゃん

妊婦さんとそのご家族を対象にしたプログラムです。先輩ママから赤ちゃんとの生活の話を聞いたり、センター職員が出産後の育児サービスの説明をします。ご夫婦の参加も多くなりました。

《85名参加》



### ママズカフェ

生後1～3か月までのお子さんをお持ちのお母さんが対象です。出産後のあれこれを、ゆっくりとお茶を飲みながら語り合い、情報交換をしたり、仲間づくりの場を提供しています。

《193名の親子が参加》

### パパの応援講座

子どもと共に過ごす楽しさや醍醐味、そして少しの戸惑いなどを、お父さん同士で共有しながら、仲間づくりや情報交換の場を提供しています。

《125名の親子が参加》

子どもの成長を学び一緒に遊びましょう

パパと一緒にベビーマッサージ

パパと家族みんなで絵本&ライブ

講座の後は、パパ同士のトークタイム

## (2) 区民ひろばでの相談事業

地域区民ひろば課の協力を得て、平成27年10月より始まり10年目を迎え、区民ひろばを利用する方にも浸透してきました。

東部は育児相談、西部は発達相談の特性を生かし、ことばとからだの相談をお受けしています。

区民ひろば職員との連携により、細やかな相談対応でき、必要に応じた支援を提供しています。

### おでかけ相談 (東部)



センターまでは遠くて行けないという方の相談を、身近な区民ひろば(18か所)でお受けしています。

《64件の相談》

### あそんで相談 ことばとからだ(西部)



西部センターでの発達相談パオパオの出張版です。区民ひろば(20か所)での相談から、センターの発達相談につながった方もいます。

《102件の相談》

## (3) 親の子育て力向上講座

### ノーバディーズ・パーフェクト

〈完璧な親なんていない〉がテーマの全6回のプログラム。参加者が話したいテーマを決め、参加者同士で話を深め、その中で多様な価値観を知り、自分らしい子育てを見つけることを目的としています。

講座修了後には、プログラムの振り返りとして、フォロー講座を実施しています。《262名の親子が参加》

### ペアレント・トレーニング

子どものかんしゃく、口答えなど子育てに困難を抱えている保護者が肯定的なコミュニケーションを通して良好な親子関係と共に、子どもの自己肯定感を生み出すことを目的にした、全8回のプログラムです。具体的なスキルを学び、日常生活の中で試行錯誤したものを毎回フィードバックしながら進めていきます。

《108名の参加》

### 親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんがきた!

生後2~5か月児を対象にした親子の愛着形成、子育て仲間との出会い、育児スキルの獲得で子育てに自信をもてるようになることを目的としたプログラムです。サポート等地域資源の獲得も目指しています。

《210名の親子が参加》

#### 〈地域組織化活動の推進〉

親同士が情報交換し支え合い、仲間づくりができるように、自主グループ活動やボランティア活動を支援し、地域に“共に支え合う”環境づくりを推進する。

- ・自主グループ 4
- ・ボランティア 6

\*令和5年度

- ・新自主グループ 0
- ・新ボランティア 2

#### (4) 親子遊び広場利用者の推移

令和5年度(12月末)

総利用者数	18,749人
相談件数	11,604件

令和6年度(12月末)

総利用者数	17,625人
相談件数	6,739件

母子モアプリでの講座予約が定着し問い合わせはほとんどない。講座受付開始日を1か月前に揃えたためわかりやすくなった。ランチルームで友達親子と待ち合わせるなど計画的に利用する方が増えた。

#### (5) 一時保育利用者の推移

令和5年度(12月末)

総保育児数	3,100人
総保育時間数	16,458時間

令和6年度(12月末)

総利用児数	3,019人
総保育時間数	16,806時間

予約の取りづらいつながりは続いている。受付開始から2分ほどで3時間以上の予約は満員になる。アプリでの予約を取りなれていないと不利になるため初回は別途予約対応をしている。

#### (6) 子育て訪問相談事業

令和5年度(12月末)

対応件数	3,501件
------	--------

令和6年度(12月末)

対応件数	2,707件
------	--------

バースデーサポート事業は、訪問予約をオンラインでできることで好評を得ている。事務作業の軽減にも繋がった。育児支援ヘルパーは事業者が8社に増え様々なニーズに対応している。

1歳のバースデーサポート事業では、保育園等に在籍していないお子さんを対象に訪問アンケートを実施後、子育てクーポンを第1子6万円、第2子7万円、第3子以降8万円を配布している。(保育園等に在籍児はアプリでアンケート回答により実施) 訪問により「孤育て家庭」の発見とつながりの構築を目的としている。アンケートの回答で子育てに不安や負担を感じているご家庭へは聞き取りや訪問を実施、また申し込みのない家庭に対し、勧奨通知を送りすべての家庭とのつながりを目指している。引き続き困ったときはまず子ども家庭支援センターへと知っていただき、安心して子育てができるようにきめ細かな支援を行ってきたい。

## 2. 巡回子育て発達相談事業(東部子ども家庭支援センター)

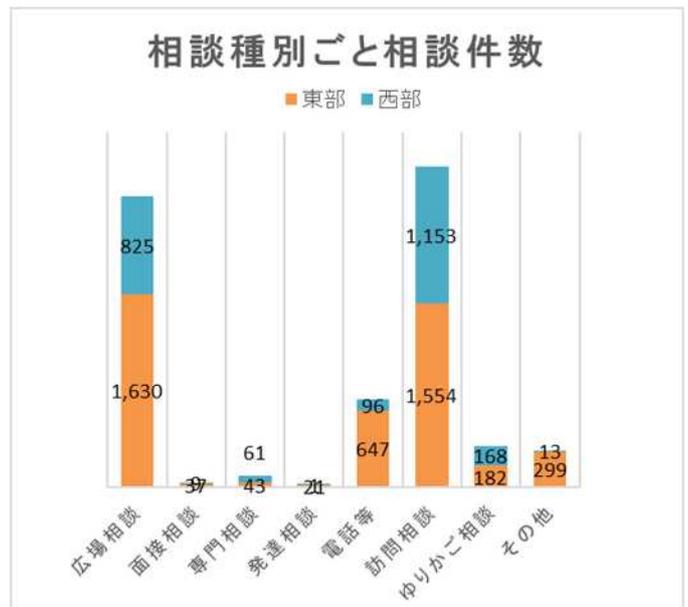
障害児、発達に気になる子どもがいる保育園や私立幼稚園、学童クラブを巡回し、児童の行動観察を行い、保育者や保護者に対し行動観察によるフィードバック、相談指導を行い、子どもの発達を支援する。また障害児保育、要支援児童の対応等の経験の少ない新設保育園、保育所に助言、指導を行っている。

<実施施設> 94施設

施設	園数	施設	園数
区立保育園	16	私立幼稚園	1
私立保育園	63	子どもスキップ	9
小規模保育所	3	千早臨時保育所	0
認証保育所	1	企業主導型保育所	1

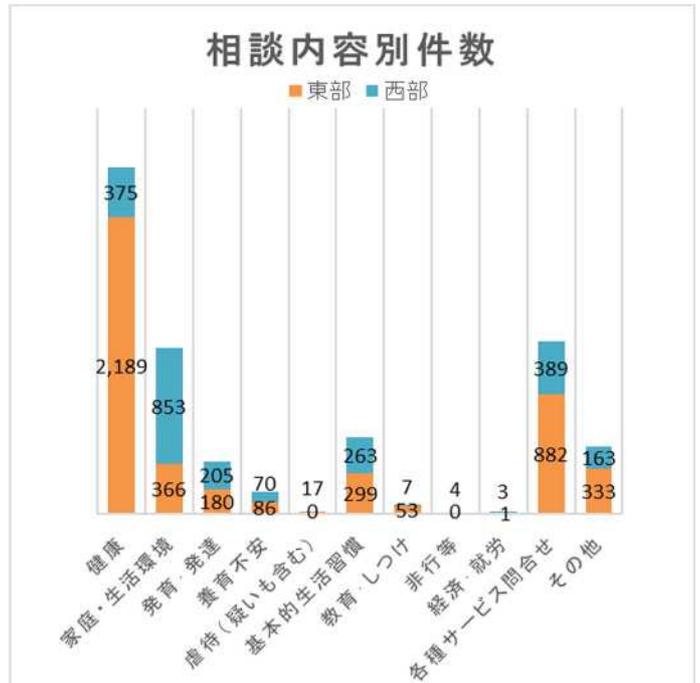
<相談対象児数> 640人

区 分	東 部	西 部	計
広場相談	1,630	825	2,455
面接相談	37	9	46
電話等	647	96	743
専門相談	43	61	104
発達相談	21	1	22
訪問相談	1,554	1,153	2,707
ゆりかご相談	182	168	350
その他	299	13	312
合 計	4,413	2,326	6,739



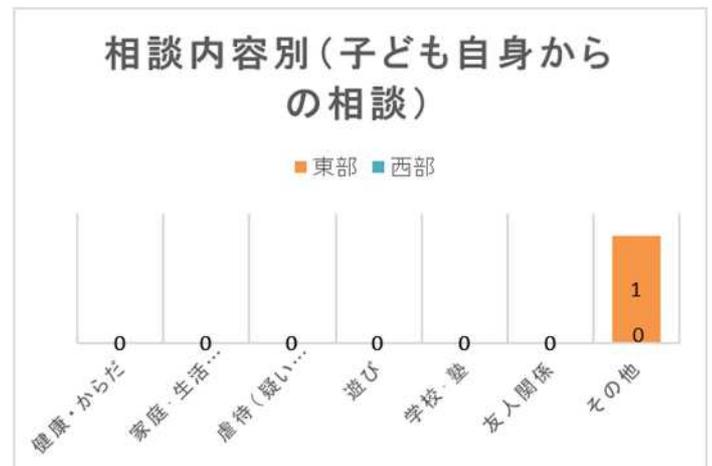
#### <相談内容>

区 分	東 部	西 部	計
健康	2,189	375	2,564
家庭・生活環境	366	853	1,219
発育・発達	180	205	385
養育不安	86	70	156
虐待（疑いも含む）	17	0	17
基本的な生活習慣	299	263	562
教育・しつけ	53	7	60
非行等	4	0	4
経済・就労	3	1	4
各種サービス問合せ	882	389	1,271
その他	333	163	496
合 計	4,412	2,326	6,738



#### <相談内容>（子ども自身からの相談）

区 分	東 部	西 部	計
健康・からだ	0	0	0
家庭・生活環境	0	0	0
虐待（疑いも含む）	0	0	0
遊び	0	0	0
学校・塾	0	0	0
友人関係	0	0	0
その他	1	0	1
合 計	1	0	1



## (2) 広場事業

区 分		東 部	西 部	計
新規登録	世帯数	506	405	911
新規登録	児童数	580	541	1,121
総利用者数		10,788	6,837	17,625
内訳	子ども	5,377	3,585	8,962
	大人	5,411	3,252	8,663

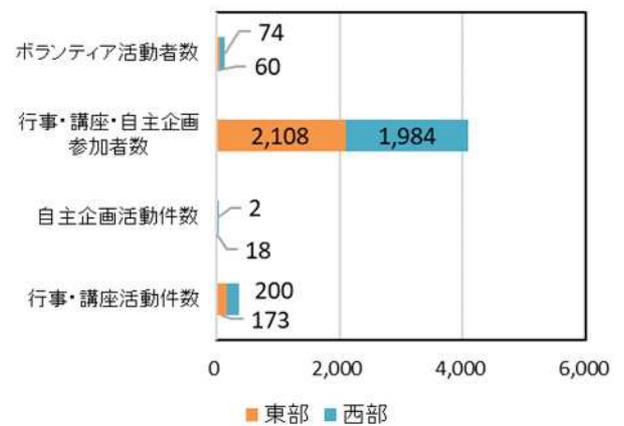


## (3) 地域組織化活動

区 分	東 部	西 部	計
行事・講座活動件数	173	200	373
自主企画活動件数	18	2	20
合 計	191	202	393

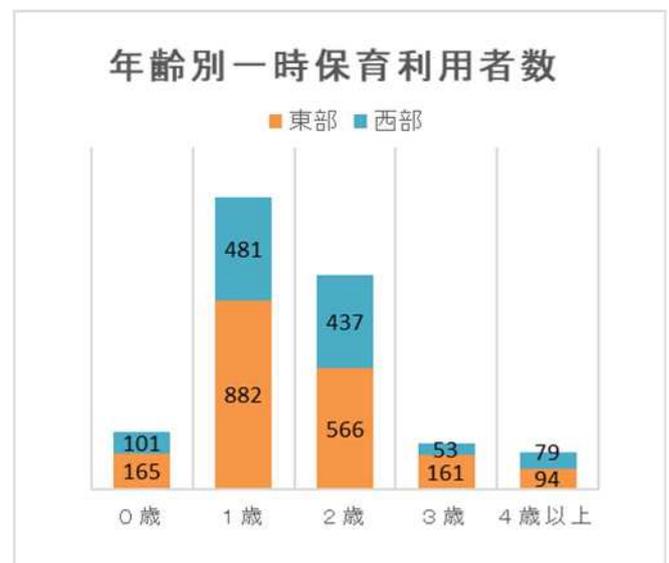
行事・講座・自主企画 参加者数	2,108	1,984	4,092
ボランティア活動者数	60	74	134
合 計	2,168	2,058	4,226

## 地域組織化活動



## (4) 一時保育

区 分		東 部	西 部	計
総保育児数		1,868	1,151	3,019
利用児童数 年齢別	0歳	165	101	266
	1歳	882	481	1,363
	2歳	566	437	1,003
	3歳	161	53	214
	4歳以上	94	79	173
総保育時間数		10,679	6,127	16,806



## (5) としまいっしょに子育て

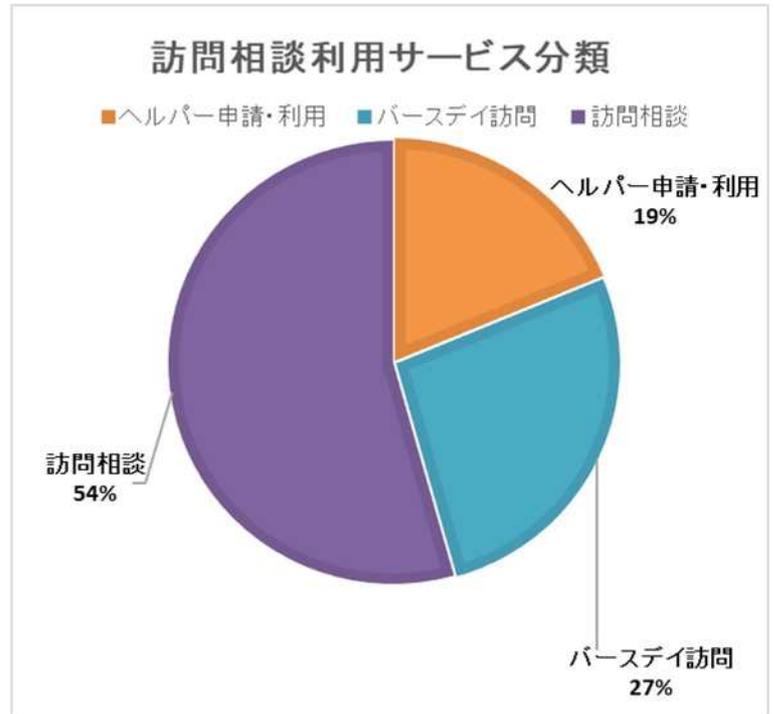
### ○子育て訪問相談事業

#### ◇ 相談対応件数

東 部	1,554 件
西 部	1,153 件
合 計	2,707 件

#### ◇ 相談対応件数内訳

	東部	西部
ヘルパー 申請・利用	300	208
バースデイ訪問	427	300
訪問相談	827	645
合計	1,554	1,153



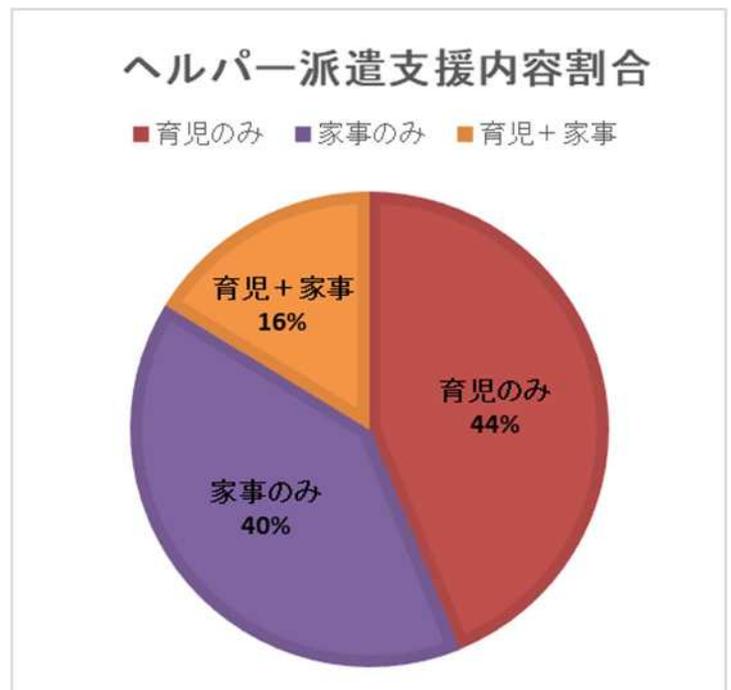
### ○育児支援ヘルパー事業

#### ◇ ヘルパー派遣回数 (単位:回)

ヘルパー派遣内容	派遣回数
育児のみ	1,469
家事のみ	1,335
育児+家事	543
合 計	3,347

#### ◇ヘルパー派遣時間

8,823 時間
----------



## (6) 巡回子育て発達相談

巡回施設のべ訪問件数	364 園
対象児のべ相談件数	1,880 名

(7) 5年間の推移（相談事業、広場事業、地域組織化活動、一時保育、訪問事業、心理巡回事業）

①相談事業年度実績グラフ



②親子遊び広場総利用者数年度実績グラフ



③地域組織化活動参加者数年度実績グラフ



#### ④一時保育年度実績グラフ



#### ⑤訪問事業

a. 育児支援ヘルパー事業 ※令和4年11月30日現在

◇ヘルパー派遣件数



b. 子育て訪問相談事業

◇訪問相談件数



#### ⑥巡回子育て発達相談事業



### 3. 児童発達支援センター

今年度より児童発達支援センターが開設され、地域の障害児の健全な発達において中核的な役割を担う機関として、来所する児童に専門的な知識及び技術を必要とする児童発達支援を提供し、あわせて障害児の家族、指定障害児通所支援事業者その他の関係者に対し、相談、専門的な助言その他の必要な援助を行うことを目的としています。



通所バス

#### (1) 年間行事

##### 馬と触れ合う会

5月27日(月) 雨天中止、11月25日(月) 48名参加

学習院大学馬術部の協力により例年実施しております。

学生の皆さまのサポートにより、心身の発達に課題があるお子さんも馬との触れ合いを楽しむことができ、貴重な経験を得られています。



##### 家族交流会

6月15日(土) 17名参加

日頃、療育に付き添っておられないお父さんにも参加いただき、センターの事業やセンターでのお子さんについて、知ってもらえる日であり、ご家族同士の交流の場にもなっています。

##### 縁日ごっこ

8月7日(水) 97名参加



今年度も密を避け、2グループ制で縁日ごっこを実施しました。平日に実施でしたが、父親も多く参加していただきました。慣れている場所でのお祭りで、通所している子どもたちも動揺なく楽しめる機会となっています。卒所後の小学生も参加できます。



##### 家族野外交流会 (いもほり)

10月20日(日) 83名参加

光が丘公園近くの農園でお芋ほりをしました。この日はお父さんも大活躍。砂に触れることができなかつたお子さんが、いつの間にか泥んこになっていたりしています。普段できない経験をすることができました。お弁当を食べて帰られたり、公園で遊んで帰られる家庭もありました。



## 園外保育

### 2グループ合同で実施

今年度は通所グループの人数が少ないため、2グループで通所バスを利用し、園外保育に出かけました。

「和光総合児童」「川口アソボーノ」



## 親子クッキング

12月7日(土) 16名参加

武蔵野調理師専門学校主催の親子で楽しく調理を楽しむ行事です。クリスマスのスイーツを作った後、プロが作ったおいしいお料理もいただきます。レストラン等の利用しにくさを抱えるご家族も安心して参加いただいています。



## おたのしみ会

12月10日(金) 18名参加



通所グループの子ども達が日ごろの療育の活動をお父さんお母さんに見てもらったり、音楽ボランティアの演奏を楽しんだりしました。サンタさんがプレゼントも持ってきてくれました。

## お祝い会

3月14日(木) 予定

通所グループを卒業し、学校へ入学するお子さんの門出を祝う会です。今年度は、別日に両グループの「成長を祝う会」を行います。

## (2) 関係機関向け発達講座 (Zoomで実施)

日 程	テーマ及び講師	参加者数
第1回 9月27日(水)	第1回発達支援講座 「ことばの発達が気になる子どもへの 具体的な支援と保護者へのサポート」 講師：言語聴覚士 大野 有紀子 氏	37名
第2回 1月30日(水)	第2回発達支援講座 「作業療法の視点から支援を考える」 講師：作業療法士 藤澤 真智子 氏	29名

### (3) ペアレントメンター事業

発達障害児を育てた経験のある親が、自らの経験を踏まえ発達が気になる子どもの子育てを応援する事業。子どもの困難に気づいても専門機関への相談はハードルが高い場合もあり、当事者目線のメンターが話を聞くことで安心感につなげ福祉サービスや学校などの情報も伝える。東京都ペアレントメンター事業の養成研修を受け、東京都ペアレントメンター事務局に登録している。豊島区では4人のメンターが登録している。



日時	対象年齢	メンター	参加人数	日時	対象年齢	メンター	参加人数
5/28 (火)	未就学児	2人	6人	12/4 (水)	未就学児	3人	1人
6/17 (月)	4~5歳児	2人	2人	2/12 (水)	年長児	2人	未定
7/5 (金)	未就学児	3人	2人	3/7 (金)	小学生	3人	未定
11/28 (木)	小学生	3人	2人				

### (4) 児童発達支援事業について

○お子さんが集団生活ができるようになると、仕事復帰をされる保護者がほとんどであるため、ここ数年の動向としては、発達支援の通所グループ（親子グループ、単独通所グループ）のニーズは減少傾向である。その反面、個別指導のニーズが高くなってきている。R7年度より、母集団ありの年少・年中のお子さんを対象に集団生活の中でよりスムーズに適応できるように、小集団の中で社会性や生活面の支援を行います。

個別指導の待機期間を短縮させるため、近隣の区民ひろば2か所（区民ひろばさくら第二、区民ひろば千早）のお部屋をお借りし、言語指導と作業療法の指導（サテライト指導）を今年度も継続した。令和7年度も継続する。

#### ○サテライト指導について

R4年度に長期待機の利用者は、作業療法84%、言語指導83%であった。R5年度計81枠を増設し対応できたことにより、作業療法は37%、言語指導は27%にまで減り、R6年度は作業療法は長期待機なし、言語指導は5%（空き枠はあるが、利用者の日程と合わず3ヶ月後になってしまう）となる。



○通所グループでは、毎月の保護者会により親同士の交流が増えた。民生児童委員様には保育をお手伝いいただき、地域でつながる機会となっている。

○児童発達支援センターになり、栄養士が配置され、子どもの摂食や咀嚼に関することなどの相談・指導に対応。また、通所グループで、調理体験を開催。偏食のお子さんも多く、フルーツポンチバイキングや収穫したお芋でスイートポテト作り、おにぎりを自分で握るなど、体験を通して今まで自分では口にできなかったものを口に入れる姿が見られ保護者も喜ばれていた。

西部子ども家庭支援センターの事業として、広場で離乳食講習会を開催したり、簡単レシピのお便りなど掲示。センターには、看護師、理学療法士もおり、専門分野でお便りを作成し利用者から、好評を得ている。



# 令和6年度 発達相談・児童発達支援事業 年間統計

## ① 相談総数

相談者数（人）

区分	発達相談		小計	専門相談		小計	合計
	契約（無）	契約（有）		契約（無）	契約（有）		
6年度	1,258	464	1,722	1,754	1,685	3,439	5,161
前年同期	1,241	463	1,704	2,203	1,351	3,554	5,258

## ② 相談内訳ほか

(1) 発達相談内訳（内容別）（件） ～子ども家庭支援ワーカーによる相談～

区分	療育方針	発達把握	医療	訓練	教育	家庭生活	見学	その他	合計
6年度	668	930	0	0	46	3	75	0	1,722
前年同期	617	892	19	1	48	21	105	1	1,704

(2) 専門相談内訳 契約（無）

区分	小児科	小児精神科	言語	理学	作業	心理	合計
6年度	2	94	526	62	502	568	1,754
前年同期	3	89	627	58	500	926	2,203

(3) 新規相談ケース来所経路

区分	保健所	医療機関	福祉機関	保育園等	教育	区民ひろば	東部センター	西部センター
6年度	65	4	3	24	1	15	12	6
前年同期	73	11	3	22	0	17	23	25

区分	利用者	パンフレット	ホームページ	支援課	生活福祉課	幼稚園	不明	その他	合計
6年度	3	0	12	1	0	9	62	45	262
前年同期	1	1	24	0	0	7	14	46	267

(4) 医療機関との連携数

機関名	都立大塚病院児童精神科	都立大塚病院小児科	心身障害児総合医療療育センター	平和眼科	あぜりあ 歯科	その他
6年度	0	0	0	2	3	2
前年同期	0	0	0	0	7	0

### ③ 児童発達支援事業

#### (1) 障害児通所給付費契約状況 (6年12月当月分)

区分	単独通所	親子通所	個別指導	支援グループ	契約数
6年度	5	3	202	8	218
前年同期	6	10	188	5	209

(注)

- ・各項目の「前年同期」は、前年同期の累計である。
- ・「契約」とは、障害児通所給付費の契約を指す。
- ・支援グループ: きりん・コアラグループを指す。

#### (2) 障害別内訳 (6年12月当月分)

区分	運動障害	発達遅滞	重複障害	言語障害	その他	合計
単独通所	0	5	0	0	0	5
親子通所	0	3	0	0	0	3
個別指導	0	210	0	0	0	210
支援グループ	0	8	0	0	0	8
合計	0	226	0	0	0	226

#### (3) 専門相談実施状況 契約 (有)

区分		小児科	小児精神科	言語	理学	作業	心理	合計
6年度	単独通所	13	0	24	25	22	15	99
	親子通所	14	0	10	10	8	21	63
	個別指導	0	0	656	75	586	142	1,459
	支援グループ	0	0	20	0	33	11	64
	合計	27	0	710	110	649	189	1,685
前年同期	単独通所	5	0	20	7	24	28	84
	親子通所	7	1	28	18	28	24	106
	個別指導	0	0	505	68	362	154	1,089
	支援グループ	0	0	10	0	37	25	72
	合計	12	1	563	93	451	231	1,351

#### (4) 単独通所グループ (ぞう)

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
6年度	140	462	174	86.0%
前年同期	146	461	158	74.0%

#### (5) 親子通所グループ (うさぎ、ひよこ)

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
6年度	113	251	108	70.0%
前年同期	151	368	175	68.0%

#### ④ 支援グループ

(1) 集団適応準備グループ（きりん） ※5年、6年度実施無し

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
6年度	0	0	0	0.0%
前年同期	0	0	0	0.0%

(2) 幼稚園・保育園児フォローグループ（コアラ：年長児）

区分	開所日数	出席児数	欠席児数	出席率
6年度	22	75	13	85.0%
前年同期	27	57	23	71.0%

#### ⑤ その他

(1) 親子遊び広場 発達相談事業（パオパオ）※区民ひろばでの出張相談含む

区分	開所日数	参加組数	参加人数
6年度	29	130	245
前年同期	28	134	254

(2) 発達支援事業 相談グループ（たまごグループ） 令和6年度よりひろばとコラボ開始

区分	開所日数	のべ参加組数	のべ参加人数	実人数
6年度	9	29	61	17
前年同期	13	46	95	31



# 子ども虐待防止ネットワーク事業（相談支援・連携調整グループ）

～豊島区要保護児童対策地域協議会 事業報告～

## ① 協議会・会議

1月末現在

会議体	日 程	主な活動内容	備 考
(1)代表者会議	令和6年 6月6日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要対協 令和5年度 事業報告</li> <li>・要対協 令和6年度 事業計画 等</li> <li>・意見交換 出席 60名</li> </ul>	豊島区役所1階 センタースクエア
	令和7年 1月16日(木) 14:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 事業中間報告</li> <li>・令和7年度 事業計画 等</li> <li>・意見交換 出席 62名</li> </ul>	豊島区役所1階 センタースクエア
(2)実務者会議	令和6年 第1回 7月18日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回セーフコミュニティ委員会</li> <li>・令和5年度 事業報告</li> <li>・令和6年度 事業計画について</li> <li>・意見交換 出席 43名</li> </ul>	レクチャールーム
	第2回 9月19日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラー支援事業 中間報告</li> <li>・DVD「みんな笑顔になる日まで」 視聴、グループワーク 出席 34名</li> </ul>	レクチャールーム
	第3回 12月5日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回セーフコミュニティ委員会 「児童虐待の防止対策委員会」R6年度 取り組み状況報告</li> <li>・意見交換 出席 40名</li> </ul>	レクチャールーム
	令和7年 第4回 2月20日(木) 15:30~17:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業 中間報告</li> <li>・令和7年度事業計画</li> <li>・「母子保健における虐待防止の取り組み」について</li> </ul>	レクチャールーム
実務者会議 (ネットワーク会議)	① 虐待進行管理 月に1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待ケースの現状と支援方針の確認</li> </ul>	豊島区児童相談所・ 相談支援G
	② ネットワーク会議 月1回 毎月第2水曜 15時~17時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の新規受理ケースについて報告</li> <li>・ケースの情報共有、支援方針の検討等</li> </ul>	東幡・池袋・目白警察署少年係長 豊島区民社会福祉協議会CSW 生活福祉課 西部生活福祉課 保健所 教育委員会 豊島区児童相談所 子ども若者課 子育て支援課 子ども家庭支援センター 保育課
実務者会議 (三機関連携会議)	③ 三機関連携会議 月に1回の 定例会議にて進行管理を 行う  毎月第2水曜 13時半~14時45分	<p>(1) 特定妊婦及び支援を要する3歳未満の児童のいる家庭の支援に関する情報共有・進行管理。</p> <p>(2) 一時保護・施設入所中などの児童のいる家庭について三機関で共有する。</p> <p>(3) その他、三機関の所長が必要と判断したこと。</p> <p>*今年度10月より、こども家庭センターにおける合同会議を並行開催し、予防的機能の強化となった。</p>	豊島区児童相談所 保健所 子ども家庭支援 センター  こども家庭センター

(3)個別ケース 検討会議		・ケースに関わる関係機関職員等と共に、 情報を共有し、支援方針や役割を確認。	
------------------	--	---	--

## ② 協議会の強化

### (1) 相談ワーカーの対応力強化

各種研修、勉強会参加、OJT 開催

- ・児童福祉任用前研修
- ・ヤングケアラーコーディネーター研修
- ・トラウマインフォームドケア
- ・児相短期研修
- ・関係機関、施設見学

### (2) 関係機関との連携

#### ① 虐待防止ネットワーク研修 2回実施

日 時	テーマ及び講師案
年2回開催	第1回 6月25日(火) 15時~17時 センタースクエア 「包摂ネットワーク~孤立・孤育てをなくす地域づくり~」 講師：長谷川翼弁護士 参加者 49名
	第2回 1月16日(木) 15時半~17時 センタースクエア 「外国にルーツをもつ子ども達」 講師：南野奈津子氏 参加者 88名

#### ② 関係機関へ出張講座

子ども家庭支援センターの相談支援・連携調整グループの職員が各機関に訪問し、児童虐待やヤングケアラー支援についての勉強会を実施。

- ファミリーサポート援助会員(2回)
- 区内幼稚園、保育園
- 小学校 保護者・教員・生徒(朝礼にて)
- 区民ひろば
- 区内専門学校、大学
- NPO 団体
- 他自治体(千葉市)

合計 35回(1月末現在)  
内、ヤングケアラー支援内容のみ5回

### (3) 構成機関の拡充

要保護児童対策地域協議会の新規加入推進を継続して行い、R6 年度 2 団体新規加入。現在 86 団体で地域の子どもたちを見守っていただいています。

### ③ 多様な虐待防止活動

地域・関係機関の皆様と連携した活動です。

<p>(1) オレンジリボン運動 運動の趣旨を広報しつつ、様々な世代・立場の区民とリボンを作成。各種イベントで配布し、虐待防止を訴える</p> 	<p>○更生保護女性会によるオレンジリボン制作 →毎月第四月曜日実施 ○大学・専門学校との協働の再開（授業など） ○オレンジリボン全庁職員の着用 ○DV 防止との連携でダブルリボンの作成を継続 ○7月14日（日） 「社会を明るくする運動 区民の集い」参加</p>
<p>(2) 「児童虐待防止街頭キャンペーン」</p>  	<p>○毎年 11 月オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン実施。 ○11月8日（目白駅前） キャンペーングッズを配布し、児童虐待防止の呼びかけを行った。 1000個配布 参加者 47名 ○11月30日(たすきリレー&amp;トークイベント) 区児相から区役所までを学生、関係機関職員でたすきリレーしながら、児童虐待防止の啓発を実施。トークイベントゲストとともに児童虐待ゼロへ！を考えた。 200 個配布 参加者 たすきリレー 74名 トークイベント 190名</p>
<p>(3) 養育家庭体験発表会</p>	<p>○児童相談所が主催 ○9月14日（土）実施 センタースクエア。</p>
<p>(4) SNS の活用 (YOUTUBE・Instagram・Twitter)</p>	<p>○東西子ども家庭支援センターは動画配信や Instagram・Twitter を活用。連携調整 G は虐待防止動画アニメ配信を継続。</p>
<p>(5) ヤングケアラー支援</p> 	<p>○引き続き、子ども家庭支援センターが常設相談窓口となり、2名のヤングケアラー支援コーディネーターを中心に、ヤングケアラー支援について他部署とともに取り組む。個別の家庭の相談支援の他、研修・普及啓発活動・各関係機関との連携会議など実施。 ○10月1日（火）レクチャールーム ヤングケアラー関係機関連絡会議 出席 39名</p>



- 10月20日(日) 14時～16時  
ヤングケアラー支援区民講演会 参加者 69名  
講師：宮崎 成悟氏
- 生活実態調査(高校生年齢：5,230人対象)  
2月17日～3月16日 Web回答形式で実施中  
20日9時時点で175件回答がきています！
- 大正大学学生のポスター展示
  - ・ヤングケアラーについて
  - ・オレンジリボンについて

#### (6) 豊島区児童虐待防止区民講演会



- 区民向けに児童虐待防止につながる講演会を実施
- 令和6年12月21日(土)  
「親子のアンガーマネジメント」  
講師：篠 真希氏 参加者 46名

#### (7) 子どもの相談カードの配布 なやみぬいぐるみ配布



- 「子どもの相談カード」  
ヤングケアラーに関する内容を追記し、7月夏休み前に学校、関係機関に15,000部配布。  
公立小学校1年生～中学校3年生(12,056部配)
- 「ぬいぐるみ配布」  
公立小・中学校全校に職員が直接配布し、相談窓口の紹介、周知を実施。

### ④ 取り組みの詳細

#### (1) 三機関連携会議・合同会議について

○三機関連携会議とこども家庭センターの合同会議について

三機関連携会議では3歳未満の児童及び特定妊婦について、児童相談所・保健所・子ども家庭支援センターで検討をしている。今年度10月より、こども家庭センターの合同会議と並行開催することにより、要対協のケースとして上がる前の予防的支援が強化された。

令和6年4月～令和7年1月までの取り扱い件数 236件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
25	15	23	24	27	21	31	20	26	24	236
総数内訳 236件		情報提供 33	身体的虐待 23	心理的虐待 66	ネグレクト 17	性的虐待 0	養育困難 56	特定妊婦 41		

## (2) ヤングケアラー支援について

### 令和6年度の支援

#### ○ヤングケアラーコーディネーターの支援家庭数

1月末で36世帯への支援を実施。(今年度新規17世帯)

支援内容：子どもとの面談・保護者との面談・家庭全体のアセスメントに基づいた、  
サービス支援の調整・他機関との連携など  
ヤングケアラーの解決のために寄り添い型支援を実施  
育児支援ヘルパー・ショートステイ・トワイライトステイの活用  
外国語の通訳支援の活用や地域の社会資源へのつなぎなど

きょうだい児へのケア・・・15 保護者へのケア・・・9

#### ○ヤングケアラー普及啓発活動 ①ジャンプ訪問(長崎・東池袋ともに2回ずつ訪問)

- ②出張講座でヤングケアラー研修 5回
- ③実務者会議で研修実施 1回
- ④都内近郊のヤングケアラー支援を実施している自治体との連絡会実施
- ⑤区民講演会を10月20日に実施 69人参加
- ⑥区内の公立小・中学校全校に訪問し相談窓口の周知を行った

#### ○ヤングケアラー関係機関連絡会議の実施

区関係者のみではなく、地域で活動している団体も含め、  
ヤングケアラー関係機関支援連絡会議を10月1日実施。

#### ○ヤングケアラーに関する生活実態調査の実施

高校生年齢の児童5,230人に実態調査のアンケートを送付。  
3月16日までを回答期間として実施中



# 子ども虐待防止ネットワーク事業（相談支援・連携調整グループ） ～豊島区要保護児童対策地域協議会 要保護児童の状況～

令和7年1月末速報値

## 1. 相談・通告件数（子ども家庭支援センター）

年度	新規受理	前年度より継続	取り扱い件数	うち終了
31年度	475	317	792	385
2年度	588	407	995	621
3年度	800	374	1174	619
4年度	709	555	1264	619
5年度	600	645	1245	741
6年度	458	504	962	386

## 2. 相談・通告の種別

区分	虐待					養護相談										合計
	ネグレクト	身体的	心理的	性的	養育困難	特定妊婦	非行	発達	不登校	家庭内暴力	性格行動	いじめ	その他			
31年度	594	152	226	214	2	198	132	29	2	0	1	1	18	0	15	792
2年度	807	168	279	355	5	188	116	31	3	0	4	2	17	0	15	995
3年度	939	181	379	371	8	235	160	32	0	0	1	0	19	0	23	1174
4年度	934	176	365	386	7	330	241	49	3	0	0	0	20	0	17	1264
5年度	844	171	310	360	3	401	326	49	4	0	3	0	13	0	6	1245
6年度	610	115	226	269	0	352	266	47	0	0	3	0	13	0	23	962

## 3. 主な虐待者

区分	実母	実父	継母等	継父等	祖父母	その他	合計
31年度	356	189	1	6	3	39	613
2年度	478	270	1	12	5	41	594
3年度	537	349	3	5	3	42	807
4年度	499	377	3	3	2	50	934
5年度	450	356	1	6	2	29	833
6年度	329	262	1	6	2	10	610

## 4. 相談・通告児童の年齢

区分	虐待								養護相談								合計
		胎児	0~2歳	3~6歳	小学生	中学生	高校生	不明		胎児	0~2歳	3~6歳	小学生	中学生	高校生	不明	
6年度	610	0	112	150	218	82	30	18	352	47	92	52	94	40	23	4	962

## 5. 相談・通告経路

### 虐待

区分	近隣	家族・親戚	児童本人	区子ども家庭支援センター(東西)	区子ども家庭支援センター(相談支援@)	区子育て支援課(女性相談)	区子育て支援課(その他)	区生活福祉課	区保健所	民生児童委員	保健所	保健所	スキップジャパン	区民ひろば	幼稚園	小学校	中学校	教育委員会	医療	警察	豊島区児童相談所	他児童相談所	その他	合計
6年度	19	19	4	59	109	11	2	1	6	5	62	49	9	0	1	54	17	19	7	0	75	18	64	610

### 児童相談

区分	近隣	家族・親戚	児童本人	区子ども家庭支援センター(東西)	区子ども家庭支援センター(相談支援@)	区子育て支援課(女性相談)	区子育て支援課(その他)	区生活福祉課	区保健所	民生児童委員	保健所	保健所	スキップジャパン	区民ひろば	幼稚園	小学校	中学校	教育委員会	医療	警察	豊島区児童相談所	他児童相談所	その他	合計
6年度	2	25	2	23	68	8	2	1	4	13	55	7	3	0	0	7	15	9	17	0	43	2	46	352

## 6. 子家から区児相に送ったケースの状況

区分	送致(虐待)	送致(虐待以外)	対応依頼(虐待)	対応依頼(虐待以外)	情報提供(虐待)	情報提供(虐待以外)	合計
6年度	10	0	21	4	18	1	54

## 7. 区児相から子家に送ったケースの状況

区分	面前DV	泣き声通告	その他虐待	その他	対応依頼	指導委託
6年度	12	16	2	2	29	0

## 8. 豊島区全体の新規通告件数

### 児童虐待相談受理状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
児相	39	65	62	66	41	48	73	55	31	69	549
子家	18	15	30	29	34	23	29	32	32	25	267
区全体	57	80	92	95	75	71	102	87	63	94	816

### その他の相談受理状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
児相	47	36	32	20	35	35	29	35	15	25	309
子家	20	27	20	26	17	17	15	11	16	22	191
区全体	67	63	52	46	52	52	44	46	31	47	500

### 区全体の相談受理状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
児相虐待	57	80	92	95	75	71	102	87	63	94	816
その他	67	63	52	46	52	52	44	46	31	47	500

・1月末現在、区全体の虐待・虐待以外の相談は 1,316 件

## 5. ショートステイ事業

### 1 事業の概要

〈R6 予算〉 32,762 千円(R5 24,898 千円、7,864 千円増)

〈R6 拡充事業〉 星美ホーム:要支援家庭 1 枠増

〈R7 へ向けて〉 ① 一般の利用者が増加していること

② 要支援家庭の枠が増加したことの動向注視

③ トワイライト利用者が増加している

⇒ 特にトワイライトステイの利用回数が増加しているため、動向を注視する。

養育内容	宿泊型:24 時間	
利用要件	保護者の方が以下のいずれかに該当し、お子さんを養育する方がいない場合 ① 疾病・出産・けがで、入院や加療、療育を必要とする場合 ② 親族等の疾病により、看護・介護に従事する場合 ③ 事故または災害にあった場合 ④ 育児疲れ・看病疲れ・育児不安などで休息を要する場合 ⑤ 冠婚葬祭・出張・学校等の公的行事に参加する場合	
対象児童	区内に住所がある、生後 43 日～18 才に達した日以後最初の 3 月 31 日までのお子さん	
利用日数	4 月からの 1 年間に 12 泊まで ※1 回の利用につき 6 泊が限度です。 ※やむを得ない事情があると認められ、施設・協力家庭において受け入れが可能な場合、必要最小限において期間を延長することができる場合があります。	
利用申請	利用日の 2 か月前から、土曜日・日曜日・祝日を除く 3 日前まで ※やむを得ない事情により急を要する場合はご相談ください。	
費用	乳児院	1 日につき 2,500 円 (1 泊 2 日の場合 5,000 円)
	その他	1 日につき 3,000 円 (1 泊 2 日の場合 6,000 円)
	<b>【減額免除制度】</b> ・非課税世帯:半額免除 ・生活保護受給世帯:全額免除 ・利用要件①のうち、保護者が入院することで不在となる場合:全額免除 <b>【取り消し料】</b> ・利用前日 17 時以降の取り消しについては 1 日分の費用がかかります。	
定員	11 名(一般:6 名、要支援 5 名)	

## 2 受け入れ先について

- ① 聖オディリアホーム乳児院  
中野区上鷲宮 5-28-28 ☎03-5971-8071
- ② 児童養護施設 子供の家  
清瀬市松山 3-12-17 ☎042-491-4876
- ③ 児童養護施設 星美ホーム  
北区赤羽台 4-2-14 ☎03-3906-2711
- ④ 母子生活支援施設 愛の家 住所・電話:非公開  
豊島区长崎 4-11-3
- ⑤ 協力家庭(要支援)(豊島区池袋)
- ⑥ 協力家庭(一般)(豊島区駒込)
- ⑦ 協力家庭(一般)(豊島区南大塚)
- ⑧ 協力家庭(一般)(豊島区雑司ヶ谷)

委託事業者一覧表

事業者	利用枠数	対象児童	事前面接	送迎
① 聖オディリアホーム 乳児院	一般 1 要支援 1	生後43日 ～2歳未満	必須。面接の上、利用の可否を決定	不可
② 児童養護施設 子供の家	一般 1 要支援 1	2歳 ～高校3年生	原則なし。ただし可能な ら事前面接	不可
③ 児童養護施設 星美ホーム	一般 1 <b>要支援 1(R6～)</b>	2歳 ～高校3年生	事前の施設見学必須	可
④ 母子生活支援施設 愛の家	要支援 1 トワイライト 2	中学1年生 ～高校3年生 の女子	原則なし。	応相談
⑤ 協力家庭(1)	要支援 1 トワイライト 2	小1 ～高校3年生	原則なし。ただし可能な ら事前面接	応相談
⑥ 協力家庭(2)	一般 1	2歳 ～高校3年生	必須。面接の上、利用の 可否を決定	応相談
⑦ 協力家庭(3)	一般 1	2歳 ～高校3年生	必須。面接の上、利用の 可否を決定	応相談

● ショートステイ事業統計データ

※ 令和6年度:令和7年1月末時点

【施設ごとの利用実績 R3年度】

R3	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ			トワイライトステイ(要支援家庭)		計
	石神井学園	子供の家	聖オディリア乳児院	協力家庭	聖オディリア乳児院	子供の家	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用件数	15件	3件	14件	12件	0件	99件	12件	42回	124回	155件、166回
利用実人数	7人	3人	10人	3人	0人	28人	5人	1人	2人	59人
利用泊数	29泊44日	7泊10日	44泊57日	13泊25日	0泊0日	328泊427日	12泊24日	-	-	433泊587日
計	利用件数:44件 利用実人数:23人 利用泊数:93泊136日				利用件数:111件 利用実人数:33人 利用泊数:340泊451日			利用件数:161件(回) 利用実人数:3人		

【施設ごとの利用実績 R4年度】

R4	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ			トワイライトステイ(要支援家庭)		計
	石神井学園	子供の家	聖オディリア乳児院	協力家庭	聖オディリア乳児院	子供の家	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用件数	20件	5件	24件	12件	6件	153件	17件	64回	62回	237件、126回
利用実人数	9人	5人	12人	1人	2人	35人	9人	4人	2人	79人
利用泊数	33泊53日	8泊13日	55泊79日	12泊24日	22泊28日	336泊489日	22泊39日	-	-	488泊725日 126回
計	利用件数:62件 利用実人数:27人 利用泊数:108泊169日				利用件数:176件 利用実人数:43人 利用泊数:380泊556日			利用回数:126件(回) 利用実人数:6人		

【施設ごとの利用実績 R5年度】

R5	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ			トワイライトステイ(要支援家庭)		計
	星美ホーム	子供の家	聖オディリア乳児院	協力家庭	聖オディリア乳児院	子供の家	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用件数	30件	31件	35件	18件	2件	145件	44件	192回	0回	272件、192回
利用実人数	18人	13人	14人	7人	1人	37人	12人	9人	0人	111人
利用泊数	67泊97日	74泊105日	59泊94日	25泊43日	3泊5日	286泊431日	70泊114日	-	-	584泊889日 192回
計	利用件数:114件 利用実人数:48人 利用泊数:225泊339日				利用件数:158件 利用実人数:47人 利用泊数:359泊550日			利用回数:192件(回) 利用実人数:9人		

【施設ごとの利用実績 R6年度】※ 1月まで

R6(～1月)	一般家庭ショートステイ				要支援家庭ショートステイ			トワイライトステイ(要支援家庭)			計
	星美ホーム	子供の家	聖オディリア乳児院	協力家庭	聖オディリア乳児院	子供の家	星美ホーム	協力家庭	協力家庭	愛の家	
利用件数	30件	7件	23件	0件	4件	116件	13件	19件	213回	190回	212件、403回
利用実人数	17人	6人	16人	0人	4人	33人	7人	8人	5人	2人	98人
利用泊数	68泊98日	19泊26日	38泊61日	0泊0日	4泊8日	236泊352日	35泊48日	28泊47日	-	-	428泊640日
計	利用件数:60件 利用実人数:40人 利用泊数:125泊185日				利用件数:152件 利用実人数:52人 利用泊数:303泊455日			利用回数:403回 利用実人数:7人			

【子どもショートステイ事業の年度別実績】

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(～1月)	R6年度予測
利用件数	12	9	88(65)	82(42)	118(80)	161(111)	238(176)	272(158)	212(152)	254(182)
対前年度(利用件数)	-	75.0%	977.8%	93.2%	143.9%	136.4%	147.8%	114.2%	-	93.3%
利用泊数	20	22	333(277)	349(265)	421(347)	433(340)	488(396)	570(354)	428	513
対前年度(利用泊数)	-	110.0%	1513.6%	104.8%	120.6%	102.8%	112.7%	116.8%	-	90.0%

※( )は要支援家庭ショートステイの実績(内数)

〇トワイライトステイ利用件数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(～1月)	R6年度予測
利用件数	0	0	90	161	126	192	190	228
対前年度比	-	-	-	178.8%	78.2%	152.3%	-	118.7%

## 6. 令和6年度 バースデーサポート事業

令和6年1月末日時点

### 【概要】

妊娠・出産・子育て期間における切れ目ないサポートの一環として、都補助金を活用し、1歳児を対象に絵本のプレゼントを行う「バースデーサポート事業」を実施してきた。

令和5年度より、国の妊娠出産子育て支援策の重点化に伴い、都においては補助金の拡充が図られることとなり、「バースデーサポート事業」の内容を、絵本のプレゼントから子ども商品券（第1子1万円、第2子2万円、第3子以降3万円）を支給し、未通園児には区職員が家庭訪問を行い、家庭状況の把握と虐待の未然防止につなげることを目的とした事業である。

令和6年度については、第1子6万円、第2子7万円、第3子以降8万円へ事業内容が拡充し、昨年度の自営による事業実施からプロポーザル方式による業者選定へ変更し、厳正な審査により株式会社大和と業務委託契約を結んだ。

### 【予算】

141,350千円

(内訳) 委託料 141,350千円

### ★統計データ 【対象：R6.4月～R7.3月生まれ】

#### ■ アンケート発送前の状況（基礎データ）

##### 【対象者数】

R6	東部C	西部C	管理G	合計
4月	44	23	71	138
5月	58	38	54	150
6月	39	25	78	142
7月	51	35	80	166
8月	55	38	57	150
9月	42	48	55	145
10月	63	37	46	146
11月	56	47	45	148
12月	64	38	36	138
1月	60	42	36	138
2月	38	51	21	110
3月	60	46	22	128
合計	630	468	601	1,699
割合	37.1%	27.5%	35.4%	100.0%

##### 【性別】

	人数	割合
男性	905	53.3%
女性	794	46.7%
合計	1,699	100.0%

##### 【国籍】

	人数	割合
日本人	1,539	90.6%
外国籍	160	9.4%
合計	1,699	100.0%

##### 【国籍の内訳】

ネパール	46	2.7%
ベトナム	39	2.3%
中国	32	1.9%
ミャンマー	25	1.5%
アメリカ	2	0.1%
インドネシア	2	0.1%
ウズベキスタン	2	0.1%
韓国	2	0.1%
台湾	2	0.1%
バングラデシュ	2	0.1%
イエメン	1	0.1%
シンガポール	1	0.1%
ドイツ	1	0.1%
フィリピン	1	0.1%
フランス	1	0.1%
ロシア	1	0.1%

##### 【多胎児】

	組数	割合
双子	24	1.4%
三つ子	0	0.0%
合計	24	1.4%

##### 【構成】

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子	合計
人数	985	560	125	21	7	1	1,699
割合	58.0%	33.0%	7.4%	1.2%	0.4%	0.1%	100.0%

##### 【内訳】

	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	第6子	合計
東部C	360	201	59	9	1	0	630
西部C	279	160	20	4	4	1	468
管理G	346	199	46	8	2	0	601
合計	985	560	125	21	7	1	1,699

■ アンケート回収後の状況

【接触状況〈アンケート回収〉】

	対象者数	回収数	未回収数	回収率	未回収率
東部C	630	523	107	83.0%	17.0%
西部C	468	383	85	81.8%	18.2%
管理G	601	568	33	94.5%	5.5%
合計	1,699	1,474	225	86.8%	13.2%



【月別未回収状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部C	0	1	0	4	3	4	3	5	7	10	13	57	107
西部C	1	4	0	1	4	3	1	4	4	9	15	39	85
管理G	4	1	2	5	1	3	4	2	2	0	2	7	33
合計													225



内訳	人数	割合
日本	187	83.1%
中国	11	4.9%
ネパール	10	4.4%
ベトナム	10	4.4%
ミャンマー	3	1.3%
アメリカ	1	0.4%
韓国	1	0.4%
フィリピン	1	0.4%
ロシア	1	0.4%
合計	225	100.0%

【国籍】	人数	割合
日本人	187	83.1%
外国籍	38	16.9%
合計	225	100.0%